

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は16.58で注意報レベルが続いています。
- ・咽頭結膜熱は前週より増加しており、今後の動向に注意が必要です。

全数報告対象疾患

- （五類）梅毒1件
 - ・（20代 女性）病型は早期Ⅱ期、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触

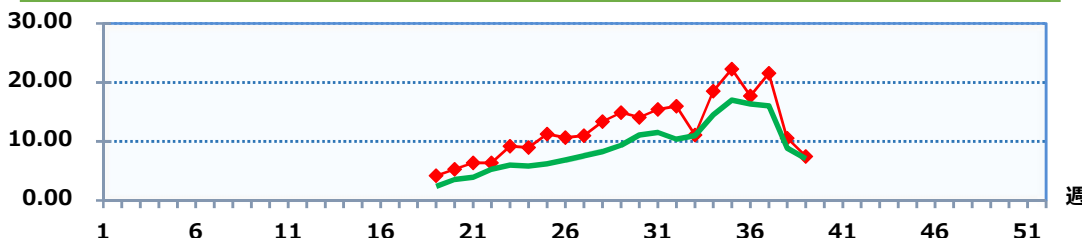
定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数 ◆ 2023 北区
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数) ◆ 2023 東京都

新型コロナウイルス感染症

※令和5年5月8日より定点把握対象疾患に移行しました。

| | 前週 9/18～9/24 | 【最新】 9/25～10/1 | 傾向 |
|-----|-----------------|-------------------|----|
| 北区 | 10.55 | 7.45 | ↓ |
| 東京都 | 8.89 | 7.08 | ↓ |



Topics

インフルエンザとは？インフルエンザの基本情報

【症状】

発熱（38.0℃以上）、悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛、全身倦怠感、鼻閉、咽頭痛、咳などの上気道症状等が突然現れます。おう吐や下痢など消化器症状が見られる場合もあり、子供、高齢の方、免疫力の低下している方などでは、重症化して肺炎や脳炎になることがあります。

【感染経路】

- ①飛沫感染：病原体を含んだ飛沫が飛散し、他の人の鼻や口の粘膜あるいは結膜に接触することで感染します。飛沫は咳・くしゃみ・会話などにより生じます。
- ②接触感染：患者の飛沫や鼻水などが手に付着したまま、手洗いを行っていない等、手を介して感染を広げます。患者が触れたドアノブやつり革などを健康な人が触った後に自分の目、口、鼻に触れることで、ウイルスが体内に入り感染します。

- 流行しているインフルエンザウイルスに対する抗体をもっていなければ重症化しやすいです。一般的には学童期の小児が最も罹患しやすいです。

【潜伏期】

潜伏期は18～72時間。発症後2～5日間はウイルス排出を認めます。

【予防するために】

予防策として**手洗い、咳エチケット、湿度の保持が有効**です。季節性インフルエンザのワクチンは、免疫をつけ重症化の予防を目的として行います。例年10月頃から開始します。高齢者では重症化、死亡を防ぐ点で効果があります。また、小児に対しても有効であり、特に発症後1～2日で生じるインフルエンザ脳炎・脳症にはワクチン以外有効な対策はないと考えられています。

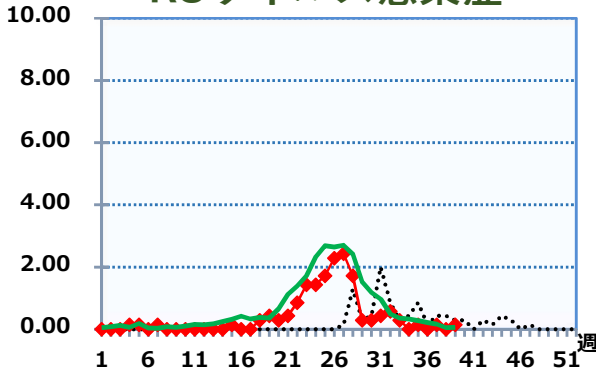
●**受診を希望する方は、事前に医療機関に連絡しましょう**●

定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数 ÷ 定点医療機関数)

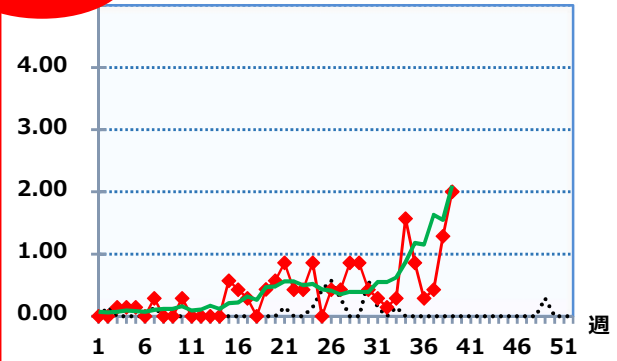
..... 2022 北区
 ◆ 2023 北区
 — 2023 東京都

RSウイルス感染症

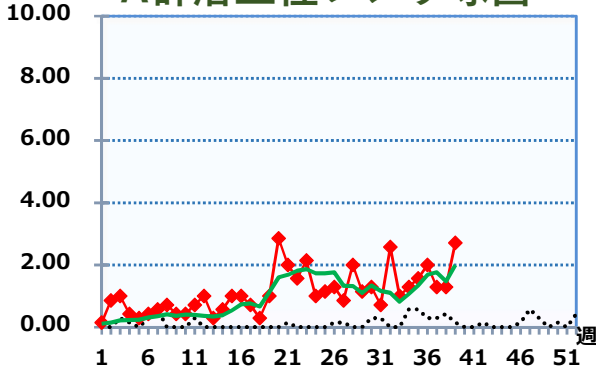


注意

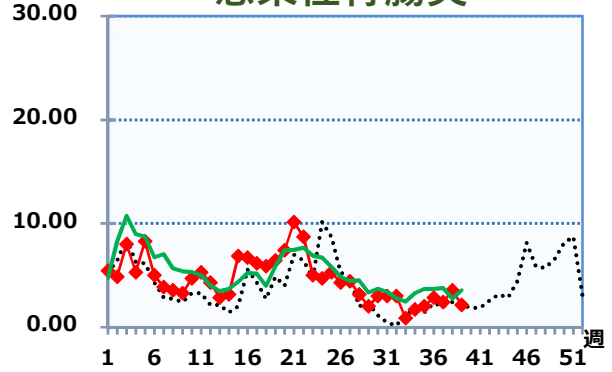
咽頭結膜熱



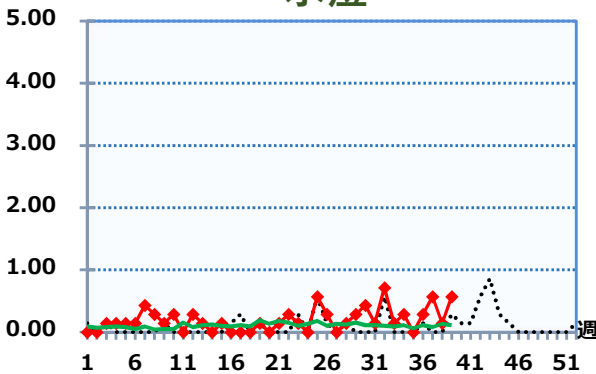
A群溶血性レンサ球菌



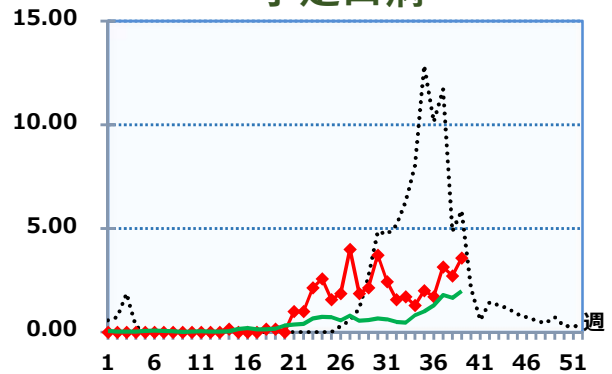
感染性胃腸炎



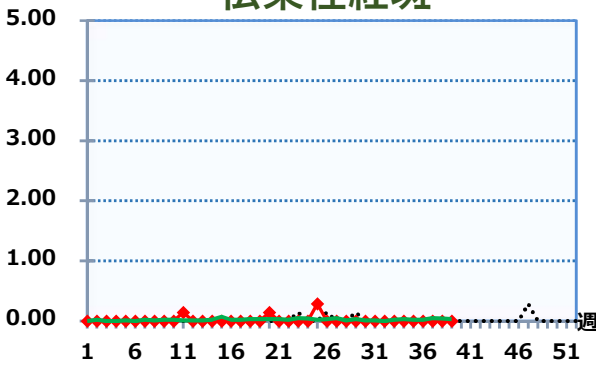
水痘



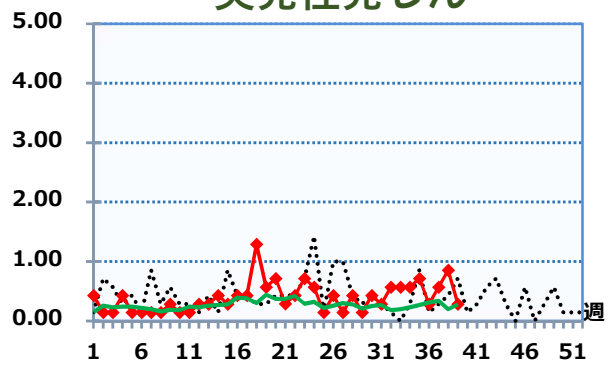
手足口病



伝染性紅斑



突発性発しん

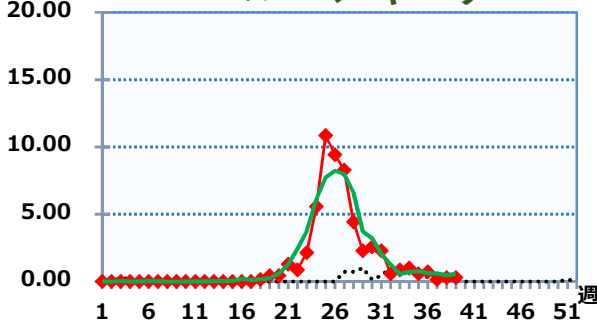


定点把握対象疾患

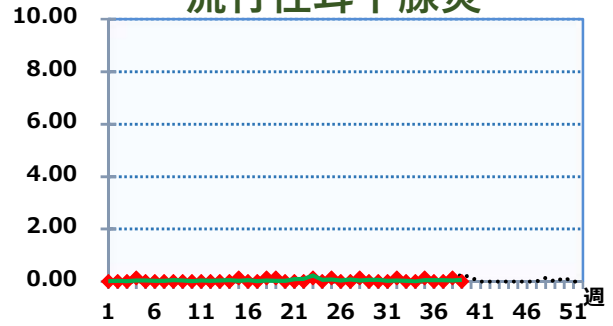
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数 ÷ 定点医療機関数)

..... 2022 北区
◆ 2023 北区
— 2023 東京都

ヘルパンギーナ



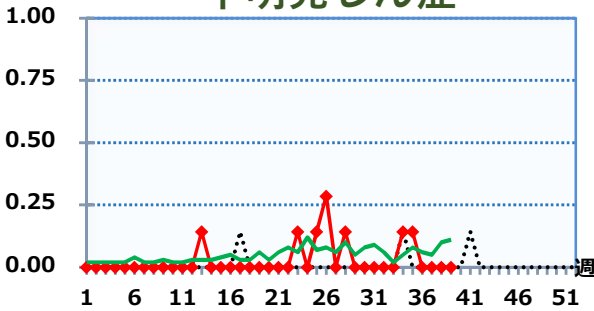
流行性耳下腺炎



川崎病

北区 : 定点医療機関当たり患者報告数 : 0.00
 東京都 : 定点医療機関当たり患者報告数 : 0.01

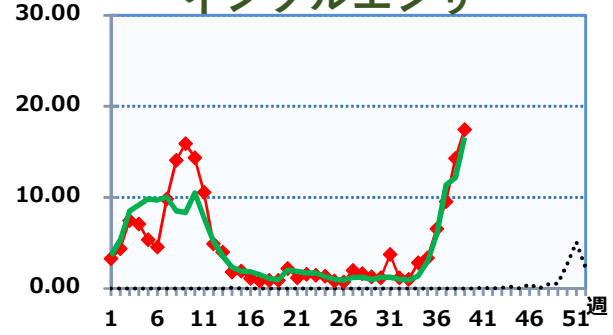
不明発しん症



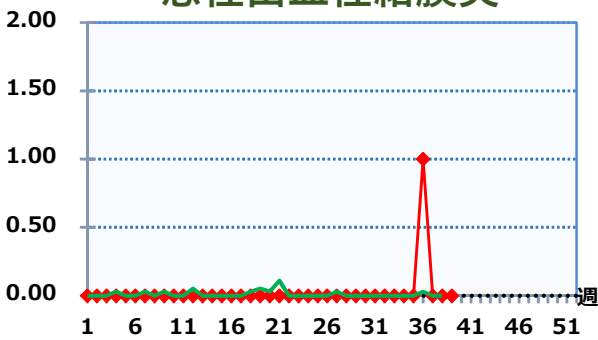
注意

都の定点当たり報告数は16.58で
注意報レベルが続いています。

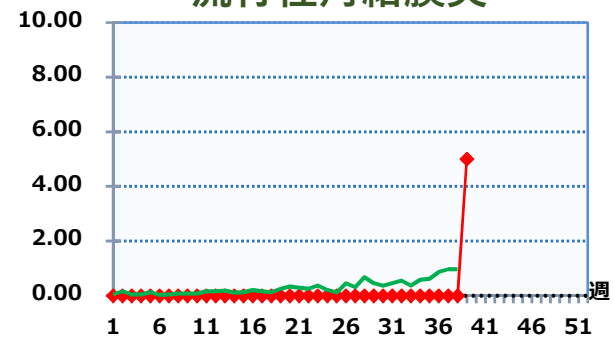
インフルエンザ



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



性感染症 (2023年8月分まで) ※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

2023年9月分は2023年第40週号にて掲載予定です。

